

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：3月

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス Labos

対象人数（保護者）11人 回答者数 6人 回収 54.5%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1		1	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	2		1	・安心していただける、職員配置ができるように、今後も体制作りに努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	2		1	・子どもたちにもわかりやすい構造化された環境等を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			1	・面談、ヒヤリングで聞き取らせていただいた内容をもとに、お子様、保護者様のニーズを踏まえて、今後も計画を立てていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1			・支援プログラムの周知だけでなく、支援内容が皆さまに届きますよう、支援アプリ、SNSを活用し、発信に努めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1			・公園等への事業所外での活動を増やし始めました。地域資源を活用し、他者との交流する機会につなげていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1	1	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	1	1	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5	1			・事業所内相談や面談について、改めて周知の徹底を図り、ご希望を伺った上で実施していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	2			・フォーマル・インフォーマルの研修や勉強会について、支援アプリでのお知らせし、情報共有させていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				・ご家族を招待する形のイベントの検討をしています。また、地域の資源を活用したイベントの情報発信を行うことで、ご利用者皆様の交流の場のご提案をさせていただきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	1	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1		2	・定期的にHPやSNSの更新・発信に努めています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1			
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5			1	
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	2	1	・マニュアル等に関する周知の強化に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	2	・定期的な訓練を行っています。 支援アプリやSNSを活用し、皆様に情報が届きますよう、努めてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	2	1	・様々な体験の際に、安全を確保して行っておりますが、保護者の皆様に伝わるように周知できるよう努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6			・今後もお子様、ご家族の皆様が安心してご利用いただけるよう、職員一同努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6			・ご意見やご要望がございましたら、いつでも職員又は支援アプリでお知らせいただけたらと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービス Labos			公表日		2026年 3月		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		利用人数増加により、増員が必要と考える。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	2	静養室を確保し、希望があれば使える状態にはあるが、職員の体制によっては難しいこともあった。	職員の人数で、個別に部屋を使いたいと申し出があっても使えないことがあったので、職員の増員が必要。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3						
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1					

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	1	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3	地域の公園に行くイベントを実施した。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3	地域で行われるイベントの情報提供を行った	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		3		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		3		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	2			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 24日		～ 2026年 1月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		～ 2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	農業体験	お子様の希望を確認の上、1人1畝を提供し、季節ごとに2～3種類の野菜を育て、収穫できるように日々の水やりや雑草取りなど、子どもたちと一緒にしている。 畑で収穫できた野菜や果物を使った料理体験を事業所内で取り組んでいる。また、家庭にも提供し、自ら育てた野菜を家族と食べることで、ご家庭での食育にも寄与できるよう努めている。	学習や食育に関連付けていけるよう、取り組みを行っていく。収穫まで育てる大変さを学んでいるところのため、食べ物への感謝や、食べられなくなった収穫物が、肥料に変わる過程など、楽しく学べる方法を企画していく。
2	庭での運動体験	庭があることで、運動体験の幅が広がり、お子様たちのやりたい遊びを通し、ルールを話し合うなど集団活動にもつなげ、主体性を育めるよう意識して支援を行っている。庭にあるトランポリンで全身運動を行いながら、ルールや時間制限を設けることで、遊びを通してお子様の学びの機会に繋がっている。	身体の使い方、身体感覚を養う企画をしていく。また、高学年の中でのサポート係を作った上で、少人数のチーム分けをし異年齢での交流の機会を作り、お子様同士の関係性の構築に繋げる企画を作っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数増加に伴い、より安心して子どもたちが活動できるように職員の増員が必要	事業所情報が調べにくい状況により、支援内容や実態が把握し難いことにより、経験がある方などは選ばれ難いものになっていたと考えられる。	求人掲載の仕方の見直しを行い、事業所の情報発信もよりこまめに行えよう力を入れていく。
2	家庭内での支援、保護者同士での交流など、保護者様向けの情報発信・提供不足	支援業務に追われることで、情報発信・提供等の業務に時間を割くことに難しい状況にある。	職員の増員が必要。発信・提供するための情報収集にも時間を設ける必要がある。また、保護者様向けの交流イベントの情報発信だけでなく、事業所内でできる企画も検討していく。
3	地域支援等の情報発信や地域交流がない	前年度から課題点でもあり、地域支援や交流について目的が整理されていない。 地域の活動等の情報収集不足もある。	地域のイベントの情報収集と発信に力を入れていく。